

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

| | |
|----------------------------------|-------------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | 日本語・日本文化専攻 准教授 |
| 氏名 Name | 蔦 清行 |
| 専門分野 Academic Field | 日本文学 |

| | |
|---|---------------|
| 主たる研究テーマ Principal Research Subject | 古代・中世日本の言語と文化 |
| <p>本年度成果を発表した研究は、次の四点に分けられる。</p> <p>1, 『山谷幻雲抄』の研究：科学研究費補助金「中世抄物の註釈の展開―『山谷幻雲抄』『黄氏口義』の比較による―」（研究代表者、若手研究（B）、16K16762）の交付を受けて進めている研究である。本年度は最終年度であり、書名・人名作品を主体とする研究報告書を執筆した。</p> <p>2, 抄物の文献学的研究：研究分担者として参加している科学研究費補助金「抄物の文献学的研究」（研究代表者大槻信、基盤研究（B）、18H00643）による研究活動である。2018年6月30日、第32回日本語日本文化教育研究会にて口頭発表「ゾンゾ攷 ―文献学的抄物読解―」を行った。また2019年3月17日、「抄物講習会」を開催した（開催責任者を務めた。講師は蔦の他、木田章義（京都大学名誉教授）・山中延之（京都女子大学講師）・山本佐和子（同志社大学助教））。</p> <p>3, 漢故事の研究：研究分担者として参加している科研費「中世における漢故事のパラフレーズ」（研究代表者森田貴之、基盤研究（C）、16K02379）の研究成果を発表する場として、森田貴之・小山順子との共編で論集『日本人と中国故事』（勉誠出版、アジア遊学 223号）を編纂した。同論文集上に論文「中世後期の漢故事と抄物」を執筆した。</p> <p>4, 上代語の文法の研究：国立国語研究所で開催された「NINJAL-Oxford 通時コーパス国際シンポジウム「通時コーパスに基づく日本語文法研究」」において、口頭発表「上代語の終助詞ゾの接続 The Syntactic Distribution of Sentence-final Particle zo in Old Japanese」を行った。招待発表。使用言語は英語。</p> | |